

校訓及び学校教育目標

校訓 「輝くいのち、共に生きぬく」

(1) 学校教育目標

子どもたちの命を守り、願いや夢を実現する教育を実践するとともに、将来の社会参加や生活自立を可能にする教育活動の開発と創造に努める。

(2) 願う子どもの姿

願う子どもの姿

- 【丈夫な子】 自分の心と身体を大切にする
- 【明るい子】 相手を思いやり、楽しく生活する
- 【努力する子】 目標や夢に向かって努力する

(3) 学校経営方針

学校経営方針

○子どもたちの心と身体を大切にする態度の育成

- ・子どもたちの心に寄り添い、安心して学習できる環境づくり
- ・豊かな人間関係の形成、食や性等に関する正しい知識の習得

○学びを人生や社会に生かそうとする資質・能力の向上

- ・地域で働き、地域に貢献できる力の育成
- ・センター的機能事業の組織的運用

○子どもたちが目標や夢をもって生活できる教育の実践

- ・生涯にわたり学び続ける力の育成
- ・個に応じたキャリア教育の推進と系統性のある進路指導

子どもたちの心と身体を大切にする組織づくり

- ・子どもの病状や発達段階、障がいの特性等を正しく把握し、情報共有しながら効果的な指導支援ができる組織体制の構築
- ・食や性等、生命の課題に対して適切な意志決定や行動ができるための系統性のある学びの構築

「分かった」「できた」喜びのある授業実践

- ・「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指した教育実践
- ・教科等の指導の充実及び合わせた指導の質の向上を目指した授業改善
- ・小学部段階から系統的に取り組む組織的・計画的な進路指導体制の確立

地域で明るく生活し、地域社会に貢献できる力の育成

- ・体験的な活動の提供と、子どもたち同士で学び合う学習活動の充実
- ・地域資源の効果的な活用
- ・特別支援教育の専門性と教科等の指導力向上を図るための継続した研修の推進

学部の重点

	小学部	中学部	高等部
目標	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域生活に関する基礎的能力や意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学部・小学校段階で積み上げてきた基礎的能力を働くことや生活の場において変化に対応できる力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学部・中学校段階で培ってきた能力を土台に働くことの知識・技能の獲得や必要な習慣形成を図る。
丈夫な子	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自分の体や命を大切にす</p> <ul style="list-style-type: none"> 排泄・食事・睡眠等の生活リズムを作るとともに、体を清潔にしたり、身なりを整えたりする。 日常生活に必要なきまりが分かり、それらを守って生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> 体の成長に関心をもったり、健康・安全に関する初歩的な事柄を理解したりする。 社会生活にいろいろな決まりがあることを知り、それらを守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活に必要な知識と技能を習得し、健康管理を行う意欲や意識をもつ。 社会や国にいろいろな決まりがあることを知り、それらを適切に守る。
明るい子	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">相手を思いやり、 楽しく生活する</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な人に挨拶をしたり、応対をしたりする。 友達を意識し、働きかけたり合わせたりしながら活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 場の状況や相手の立場を理解して、挨拶したり場の目的に応じた振る舞いをしたりする。 集団生活に慣れ、自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、言葉遣い、敬語の使用等、相手に応じた適切な振る舞いをする。 状況に合う行動を判断し、協力してやり遂げようとする。
努力する子	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">目標や夢に向かって努力する</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級等の基礎的な集団活動において役割を主体的に果たす。 自分のことは自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や家庭生活で自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行する。 自分で決めた目標に向けて、自分で達成しようとする意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、役割を実行する。 生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとしたり、支援を求めたりする。

障がい種別在籍児童生徒数

		障がい別			学年別 児童 生徒数	学級数			性別		通学方法					計
		知的 障がい	肢体 不自由	病弱		通常	重複	計	男	女	スクール バス	福祉 施設 から	寄宿舍	自力	自家用車 (付添)	
小学部	1年	7	1 (5)	(2)	15	3	3	6	11	4	13	0	0	0	2	15
	2年	11	(2)	1 (1)	15	3	1	4	12	3	14	0	0	0	1	15
	3年	7			7	2	0	2	5	2	7	0	0	0	0	7
	4年	12 (1)	(1)		14	2	1	3	12	2	14	0	0	0	0	14
	5年	7	(8)	(1)	16	2	4	6	12	4	16	0	0	0	0	16
	6年	2	(1)		3	1	1	2	3	0	3	0	0	0	0	3
	計	47	18	5	70	13	10	23	55	15	67	0	0	0	3	70
中学部	1年	8	1 (5)	1 (1)	16	4	3	7	8	8	15	0	0	0	1	16
	2年	8 (1)	(3)	2 (1)	15	3	2	5	9	6	11	0	2	0	2	15
	3年	8	(2)	1 (2)	13	3	2	5	10	3	11	0	0	0	2	13
	計	25	11	8	44	10	7	17	27	17	37	0	2	0	5	44
高等部	1年	27	(1)	1 (4)	33	5	3	8	24	9	16	0	3	13	1	33
	2年	25	(2)	1 (3)	31	5	1	6	19	12	6	0	11	11	3	31
	3年	28	1 (1)	(2)	32	5	2	7	27	5	13	0	3	16	0	32
	計	80	5	11	96	15	6	21	70	26	35	0	17	40	4	96
計	152	34	24	210	38	23	61	152	58	139	0	19	40	12	210	

備考：()は重複障がい児童生徒数